

## 壬生町 校務 DX 計画

### 1. 校務 DX を推進する上での現状と課題

壬生町においては、全ての小中学校で教職員が組織的な ICT 活用を実践できるよう、教育 DX を推進しているが、学校間格差があることが課題となっている。文部科学省が取りまとめた「GIGA スクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言を踏まえ、「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」に基づく自己点検により課題を明確化し、各学校において校務 DX を推進できるよう支援を行う。また押印の原則廃止にむけた対応を検討する。

統合型校務支援システムの更新については、次世代の校務支援システムの導入を視野に、重複した入力作業の廃止やペーパーレス化など、望ましい校務の在り方やそれを実現するためのネットワーク等について検討を進めていく。

### 2. 校務 DX を推進するための課題解決方針

- ・校務の情報化の推進について、書類作成や情報共有、採点・集計作業等に関するデジタル活用、ICT や生成 AI 等を活用した校務効率化に関する優良事例の周知と、働き方改革の観点から ICT やグループウェア等を積極的に活用した業務の効率化と質の向上を目指すことを検討していく。
- ・次世代の校務支援システムの導入を視野に、押印や不要な手入力作業の廃止、連絡手段のデジタル化に取り組むため、校務の情報化推進に向けた調査研究を進めていく。
- ・ICT に関する幅広い知識を有する人材を育成するため、オンラインによる研修等を実施する。
- ・研究校や先進校の取組事例について各小中学校に情報共有を図り、実践しやすい環境を構築する。